

日本リメディアル教育学会 第10回全国大会・総会のご案内

日本リメディアル教育学会全国大会は、2005年に清泉女子大学で開催された第一回大会以来、全国各地での開催を重ね、2014年度、第10回大会を迎えることになりました。今年度は東京電機大学千住キャンパスを会場として全国大会および総会を以下の要領で開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

今回は第10回記念大会として、「リメディアル教育から新たな学びへ」をテーマとして、この10年を振り返るとともに、これからの大学教育を展望し、学会活動のさらなる発展を図る大会としたいと考えています。

日本リメディアル教育学会第10回全国大会実行委員会

1. 会場：東京電機大学千住キャンパス 2号館（21日の基調講演は1号館）

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

アクセス：<http://web.dendai.ac.jp/access/tokyosenju.html>

2. 会期：2014年8月20日（水）～22日（金）

<スケジュール> 本大会は会期を三日間と致します。

第一日 8月20日(水)		第二日 8月21日(木)		第三日 8月22日(金)	
		9:00			
			研究発表A、ポスター発表1	9:30	研究発表D
		10:15	移動・休憩	10:45	休憩
		10:40	開会式	11:00	研究発表E
		11:00	基調講演(市川伸一教授)	12:15	昼食休憩
		12:30	昼食休憩	13:15	記念講演(姜尚中学長)
13:00	理事会 編集委員会	13:30	ワークショップ 研究発表B	14:15	記念シンポジウム
		14:45	休憩	14:20	
15:00	専門部会企画	14:55	企業説明会		
		15:45	総会	15:40	
		16:00	移動・休憩		
		16:15	研究発表C、ポスター発表2		
16:30		17:30	移動		
		18:00	情報交換会		
		20:00			

- * 初日（20日）は3時より専門部会企画を行います。
- * 一般発表は、口頭発表（研究発表A～E）とポスター発表を行います。
- * ポスターセッションは21日の研究発表Aと研究発表Cの時間に平行して行いますが、重ならない時間を設けます。
- * スケジュールの詳細および正確なタイムテーブルはプログラムでご確認下さい。

おもな実行委員会企画

- (1) 基調講演（21日11時～12時30分）市川伸一（東京大学教授）
「認知理論を教育実践に生かす - 意味理解と思考過程を重視した学習指導に向けて」
- (2) ワークショップ 市川伸一教授コーディネイトの研修(21日13時30分～15時)
「全員参加のワークショップ型研修 - 三面騷議法による授業検討会の体験」
(注) 会場の都合により定員を100名としますので、先着順で100名となった時点で申込みを打ち切らせていただきます。申し込みは大会ホームページ上で受け付けます。
- (3) 記念講演（22日13時15分～14時15分）姜尚中（聖学院大学学長）
「いま若者のために大学ができること」
- (4) 記念シンポジウム（22日14時20分～15時40分）
テーマ「リメディアル教育から新たな学びへ」
登壇者：小野博（福岡大学教授）、赤堀侃司（白鷗大学教授）、
馬場真知子（東京農工大学教授）

1) 専門部会企画（8月20日15時～16時30分）

- (1) 日本語部会／学習言語部会（ラウンドテーブル）
「大学までの教育と論理的思考力・日本語力」
日本語部会と学習言語部会では、これまで大学での学習を支える言語力とは何かという問題に対して取り組んできたが、今回は初等中等教育における教育に遡りながら、議論を行う。初等中等教育の現場で行われているのはどのような教育か、初等中等の国語教育の専門家を交えて、日本語力の育成に必要なこととは何か、教員がどのような姿勢で授業に臨むことが、学習言語力、論理的思考力を伸ばすことにつながるのかなどについて議論を深めたい。
司会：たなかよしこ
話題提供者：福嶋隆史（ふくしま国語塾主宰）、河住有希子（日本工業大学）、小山義徳（千葉大学）、野崎浩成（愛知教育大学）

(2) 理数系部会 (シンポジウム)

「理数系科目 リメディアル授業の実践と課題、解決への手探り」

大学の多くは、高等学校までに習うべき基礎学力が不足のまま入学した学生を相手に、試行錯誤しながら授業を行い、さらに個別対応などを行っている。今大会では、各自・各大学が行っている実践報告してもらい、悩みや課題などの意見を交換し、どのように改善していったらよいかを議論していきたい。

登壇者：西 誠 (金沢工業大学)、水町龍一 (湘南工科大学)、海老原由貴 (Palm Beach State College)

(3) 特別学修支援部会 (ラウンドテーブル)

「発達障がいをもつ学生への学習(修)支援—高等教育場面での取り組み」

近年、日本の高等教育機関に在籍する「障がい等が原因で学ぶことが困難な学生」は急増しているものの、障がいをもつ(あるいは疑いのある)学生に対する学習(学修)支援関連の研究が十分になされているとはいえない。特に発達障がい学生への学習・学修支援のあり方を模索する。

話題提供者：上岡義典 (高知学園短期大学 准教授)「高等教育場面における発達障がい学生に係る学習(修)支援の状況」、桶谷哲文 (富山大学学生支援センター 講師)、村山光子 (明星大学学生サポートセンター長)

(4) 英語部会 (シンポジウム)

「英語学習に対する学習負担軽減のための方策」

英語学習に対する抵抗感を軽減する要因として、活動や授業内容の楽しさと学習方略があげられる。これに加え、昨年度発表した共同研究の結果は、取組内容の質および量の調節が学習負担軽減にとって重要な要因であることを示唆した。しかし、一斉授業においてこうした調整は難しい。本シンポジウムでは、授業において質・量の調整をどのように実現するのか、その具体的な取組を交流したい。その際、中高の現場からも、教育現場や生徒の実情や授業実践の提起をしていただく。そして、中高大の接続を視野に入れた上で学習負担軽減のための方策について、具体的な提案を行う。

登壇者：阿久津仁史 (東京都文京区立茗台中学校)、三沢渉 (埼玉県立青陵高校)、小原弥生 (尚美大学)、中村紘子 (武庫川女子大学)、恒安眞佐 (宇都宮大学)

2) 情報交換会

日時：21日(木) 18時～20時

会場：東京電機大学千住キャンパス食堂

参加費：5,000円

申込み方法：参加申込みの際に手続きしてください。

3. 大会参加申込み

円滑な大会運営のため、大会ホームページの参加申込みフォームから事前申込みをしていただけるようお願いします。4月14日より受付を開始しています。なお、本年度より事務局が国際文献社に移動したことから、ウェブサイトは大幅に変更され、申込み方法も新しくなりました。参加申込み、展示申込み、研究発表申込みとも、わかりやすい画面が示されますので、その指示にしたがってお手続きをお願いします。なお、不明な点は大会事務局・ヘルプデスクにお問い合わせ下さい。

ヘルプデスク : jade-desk_at_bunken.co.jp (_at_ を @ に書き換えてください)

4. 大会参加費 (参加費には予稿集1部を含む)

正会員 (個人)	事前申込み	4,000 円
	当日申込み	5,000 円
非会員	事前申込み	5,000 円
	当日申込み	5,000 円
情報交換会	事前当日共	5,000 円

* 事前申し込みは7月28日(月)までです。29日までに参加費をお支払い下さい。

* 受付の混雑を避けるためできるだけ事前申込み頂きますようお願いします。

* 部会企画に参加される方も本大会の参加登録が必要です。

5. 企業展示様。大学会員・賛助会員の参加

・ 展示企業様は3名様まで大会参加費は無料 (予稿集3部を含む)。

* 詳細は展示申込み企業様に連絡します。

・ 大学会員および賛助会員は、代表者の他2名様まで正会員、4人目以降は非会員の参加費が必要となります。

6. 重要な期日

- ・ 参加申込み受付開始 4月14日(月)
- ・ 研究発表申込み締切り 5月23日(金) (延長しました)
- ・ 研究発表採択通知 6月2日(月)
- ・ 予稿原稿締切り 6月25日(水)
- ・ 事前申し込み締切り 7月28日(月)

7. 発表申し込みおよび発表方法について

- ・ 一般発表の申し込みは終了致しました。
- ・ 発表申し込み方法および発表方法の詳細につきましては大会ホームページ上の各文書をご覧ください。